

国土形成計画(広域地方計画)の推進について

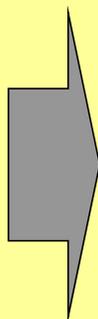
国土交通省 国土政策局

国土形成計画

国土の利用、整備、保全を推進するための総合的かつ基本的な計画

全国計画 (H27.8.14閣議決定)

総合的な国土の形成に関する指針



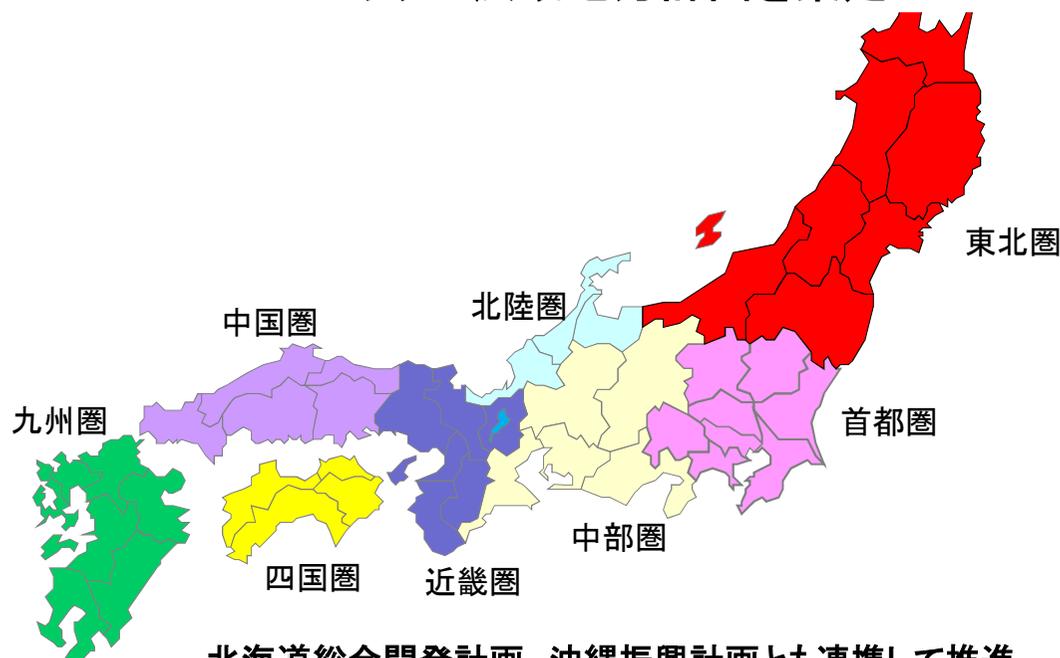
広域地方計画 (H28.3.29国土交通大臣決定)

ブロックごとに、国と都府県等が適切な役割分担の下、相互に連携・協力して計画を策定

8つのブロックで広域地方計画を策定

○全国計画が示す総合的な国土の形成に関する指針の下、8つのブロックで広域地方計画を策定

○計画の実現に向けた具体的な取組として、116の**広域連携プロジェクト**(8ブロック合計)を特定



北海道総合開発計画、沖縄振興計画とも連携して推進

各ブロックの将来像

東北圏

震災復興から自立的発展

震災復興を契機に、日本海・太平洋2面活用による産業集積、インバウンド増加により、人口減少下においても自立的に発展する防災先進圏域の実現と豊かな自然を生かした交流・産業拠点を目指す。

首都圏

安全・安心を土台に洗練された対流型首都圏の構築

三環状、リニア等の面的ネットワークを賢く使い、「連携のかたまり」を創出する対流型首都圏に転換。「防災・減災」と一体化した「成長・発展」、国際競争力強化。首都圏全体で超高齢化に対応。

北陸圏

日本海・太平洋2面活用型国土の要

三大都市圏との連携、ユーラシアへのゲートウェイ機能の強化を図り、国土全体の災害リスクに対応した多重性・代替性を担うとともに、暮らしやすさに磨きをかけ、日本海側の対流拠点圏域の形成を目指す。

中部圏

世界ものづくり対流拠点

リニア効果を最大化し、スーパー・メガリージョンのセンターを担い、首都、関西、北陸圏と連携し、世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブを形成、観光産業を育成、圏域の強靱化を図る。

近畿圏

歴史とイノベーションによるアジアとの対流拠点

我が国の成長エンジンとして、スーパー・メガリージョンの一翼を担うため、知的対流拠点機能を強化し次世代産業を育成。圏域北部・南部まで個性を活かし世界を魅了し、多様な観光インバウンドの拡大を図る。

中国圏

瀬戸内から日本海の多様な個性で対流し世界に輝く

瀬戸内海側の産業クラスター、中山間地の自立拠点、日本海側の連携都市圏などの拠点間のネットワークを強化し、国内外の多様な交流と連携により、圏域を超えた産業・観光振興を図る。

四国圏

圏域を越えた対流で世界へ発信

隣接圏域等との対流を促進し、南海トラフ地震への対応力の強化、瀬戸内海沿岸に広がる素材産業・製造業やグローバルニッチ産業の競争力強化、滞在・体験型観光によるインバウンド拡大を目指す。

九州圏

日本の成長センター～新しい風を西から～

アジアの成長を引き込むゲートウェイとして、高速交通ネットワークを賢く使い、巨大災害対策や環境調和を発展の原動力として、中国、四国など他圏域との対流促進を図る「日本の成長センター」を目指す。

広域連携プロジェクトの推進について

広域地方計画の策定(H28.3)

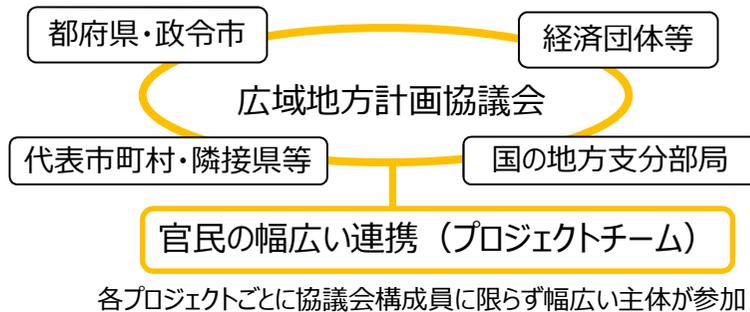
8ブロックごとの広域地方計画協議会の協議を経て、国土交通大臣が決定

- ・ 広域ブロックの将来像、分野別施策の方向性
- ・ 「広域連携プロジェクト」の特定 [8圏域で計116] (地域のポテンシャルの分析と基本コンセプトの提示)

29年度～ 広域連携プロジェクトの推進

地域主導による推進

広域地方計画協議会を中心に広域連携プロジェクトを推進



広域連携プロジェクトの推進に向けた検討

各々の広域連携プロジェクトについて
広域連携・官民連携による関係者の役割分担の下に、
その実現のための具体的な施策・事業と進め方を明確化

各主体による具体の施策・事業の推進

各プロジェクトの計画のモニタリングを通じ進捗状況をフォローアップし、PDCAサイクルの下で施策・事業の改善を図る。

支援

国土政策局の支援策

広域連携プロジェクトの早期の具体化を図るため、先行的な事例の形成を支援

各圏域で、先行事例の経験を他の広域連携プロジェクトに応用することで、計画の推進を加速・効率化

先行事例とする広域連携プロジェクト選定の視点

下記の要件に合致するプロジェクトを選定

- ① 広域連携プロジェクトとしての基本的な熟度、国土形成計画の推進への高い効果
 - ・ 官民連携と広域連携
 - ・ 高速交通体系の整備を踏まえた地域の特性、ポテンシャルの活用 (位置の発見)
 - ・ コンパクト+ネットワーク、対流促進
 - ・ 産業構造の変化や人口減少・高齢化、インバウンドの増加等の潮流への的確な対応
 - ・ インフラの徹底活用、インフラの進化・質的向上を伴う経済成長 (稼げる国土) や持続可能な地域の形成 (住み続けられる国土) への高い効果
 - ・ 実現性、自立可能性
- ② スーパー・メガリージョンの形成、及び地方圏との対流促進、さらに、地方同士のブロックを超えた広域連携を促進し、全国を一つの経済圏に統合する地方創生回廊の形成に貢献

【目的とコンセプト】

北陸新幹線の延伸や北海道新幹線の開通は、首都圏と東北圏、北陸圏及び北海道の連携・融合が期待されるだけでなく、首都圏がそれらの圏域の窓口となることにより、スーパー・メガリージョンの機能をより強化する役割を果たすことが期待される。

東北、上信越・北陸方面からの新幹線が集結する「大宮」は、西日本との玄関口となる「品川」と並び、東日本からの多種多様なヒト、モノが実際に集結して交流する最初の対流拠点であり、企業の取引機会拡大や販路開拓、連携によるイノベーションの創出等の取組支援や、広域周遊観光ルート構築のための玄関口機能を果たすとともに、首都直下地震の発災時には首都圏の機能をバックアップするための最前線となる。

このため、東日本のネットワークの結節点として連携・交流機能の集積・強化を図るとともに、災害時のバックアップ拠点機能の強化を図る。

【具体的取組内容】

1. 国際的な結節機能の充実

- ① 北関東地方、東北地方、上信越・北陸地方及び北海道からのヒト、モノ、情報の集結・交流機能を高めるため、「大宮」の機能向上等を含む交通機関相互の結節機能を強化し、各種交通モードのシームレスな利用を促進する。
- ② 成田空港・羽田空港へのアクセス強化により、国際社会とのヒト・モノ等の連携・交流機能や情報発信力を充実・強化する。

2. 対流拠点機能の集積強化

○東日本における歴史・文化、芸術、物産及び人材等の地域資源の相互活用によるヒト、モノ、情報の交流促進、企業活動の活発化、観光コンテンツの充実・連携による広域周遊観光ルートの構築を図るとともに、北海道、東北、上信越・北陸地方の主要都市間連携の場の構築とMICE等の対流拠点機能を整備する。

3. 災害時のバックアップ拠点機能の強化

- ① 自然災害に強いという立地特性を活かした日本海側と太平洋側の防災連携拠点の整備を促進し、首都中枢機能を支える都市機能を充実する。
- ② 国の出先機関が集積する「さいたま新都心」付近を、TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)の進出拠点に位置付ける。
- ③ 多様なエネルギー(ガソリン、軽油、天然ガス、電気、水素等)に対応した供給設備の整備促進により、輸送用エネルギーセキュリティを確保し、災害時の人流・物流をサポートする。
- ④ 災害発生時に、DMAT(災害派遣医療チーム)を被災地へ速やかに派遣できる体制を整備する。

4. 関連インフラの整備等

○広域交通ネットワークの機能を最大限に活用するため地域高規格道路や幹線道路など関連する交通インフラ整備等を促進。



東日本玄関口創出のイメージ

※プロジェクトのイメージを示したものです。

東北圏広域地方計画 広域連携プロジェクト

基本戦略・目標	広域連携プロジェクト
1. 東日本大震災からの被災地の復興	1. 新しい東北圏を創造する東日本大震災からの復興プロジェクト
2. 災害に強い防災先進圏域の実現	2. 安全・安心な東北圏を形成する大規模地震災害対策プロジェクト
3. 恵み豊かな自然と共生する環境先進圏域の実現	3. 地球温暖化等にもとまない高まる自然災害リスクへの適応策プロジェクト 4. 東北圏のポテンシャルを活かした低炭素・循環型社会づくりプロジェクト 5. 東北圏の自然環境の保全・継承プロジェクト
4. 雪にも強くて人に優しく暮らしやすい魅力的な対流促進型の地方の創生	6. 東北圏における人口減少対策プロジェクト 7. 都市と農山漁村の連携・共生などによる持続可能な地域構造形成プロジェクト 8. 雪国東北の暮らし向上プロジェクト 9. 東北圏の生活を支える地域医療支援プロジェクト
5. 地域の資源、特性を活かした世界に羽ばたく産業による自立的な圏域の実現	10. 次世代産業の研究・産業集積拠点形成プロジェクト 11. 東北圏の資源を活かした農林水産業の収益力向上プロジェクト 12. 「四季の魅力溢れる東北」を体験できる滞在交流型観光圏の創出プロジェクト
6. 交流・連携機能の強化による世界と対流する圏域の実現	13. 東北圏の発展を牽引する日本海・太平洋2面活用によるグローバル・ゲートウェイ機能強化プロジェクト
7. 地域を支える人材の育成と共助による住民主導の地域運営の実現	14. 「東北にっぽん」を創造する多様な主体が連携・協働する地域づくり支援プロジェクト
	15. 首都圏・北海道・北陸圏等との連携強化プロジェクト ※基本戦略1～7に跨がるプロジェクト

基本戦略・目標	広域連携プロジェクト
1. 首都圏から始める確固としたデータ蓄積と高度なICTに基づく科学的な国土管理・国土活用	1. 大規模災害に備えた地籍調査の促進プロジェクト 2. 次世代ワイヤレスコリドー形成プロジェクト 3. ビッグデータ及びICTを活用した地域の安全安心確保プロジェクト
2. 巨大災害にも対応できる強靱な首都圏の構築	4. 首都中枢機能の継続性確保・バックアップ機能強化プロジェクト 5. 災害対応力強化プロジェクト 6. 災害への備えの充実プロジェクト 7. 四路啓開プロジェクト 8. 「連携のかたまり」同士のコラボによる首都圏防災力向上プロジェクト 9. 大規模災害時のエネルギー輸送確保プロジェクト 10. 広域連携による応急住宅提供体制の構築プロジェクト 11. インフラ老朽化対策とマネジメントプロジェクト
3. 世界最大の経済集積圏としてのスーパー・メガリージョンの形成と国際競争力の強化	12. スーパー・メガリージョンの形成プロジェクト 13. 次世代成長産業の育成プロジェクト 14. 水素社会プロジェクト 15. 大観光時代に対応した基礎的観光力向上プロジェクト 16. 東京の世界都市機能強化プロジェクト

基本戦略・目標	広域連携プロジェクト
4. 対流型首都圏の構築	17. 北関東新産業東西軸の創出プロジェクト 18. 東日本と西日本、さらには世界をつなぐ新たな物流軸プロジェクト 19. 首都圏による日本海・太平洋二面活用プロジェクト 20. 海洋国家未来軸の創出プロジェクト 21. 富士山・南アルプス・八ヶ岳対流圏の創出プロジェクト 22. 海洋文化都市圏の創出プロジェクト 23. FIT広域対流圏の強化プロジェクト 24. 日光・会津・上州歴史街道対流圏の強化プロジェクト 25. 首都圏南西部国際都市群の創出プロジェクト 26. 多摩川国際臨空拠点群の創出プロジェクト 27. 東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流拠点の創出プロジェクト 28. つくばを中心とした知的対流拠点の創出プロジェクト 29. 国際空港近辺の卸売市場の輸出拠点化プロジェクト 30. 急増するインバウンドに対応した総合的な広域首都圏の空港・港湾の利用拡大と宿泊施設等観光基盤の整備プロジェクト 31. 首都圏版コンパクト＋ネットワーク(「まとまり」と「つながり」)構築プロジェクト 32. 国際的な港湾・空港機能の拡大・強化プロジェクト
5. 共生首都圏の形成と都市農山漁村対流	33. 健康長寿プロジェクト 34. 若者・女性・高齢者・障害者活躍プロジェクト 35. エコシステムサービス充実プロジェクト 36. 首都圏の特性を活かした農林水産業の成長産業化の実現プロジェクト 37. 魅力ある農山漁村づくりプロジェクト 38. 住み替え支援による地方への人の流れの創出プロジェクト
6. 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会にターゲットをおいた首都圏・日本の躍進	(各プロジェクト横断での取り組み)

基本戦略・目標	広域連携プロジェクト
1. 個性ある北陸圏の創生	1. 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト 2. いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト 3. 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト 4. 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト 5. 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト
2. 競争力のある産業の育成	6. 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト 7. 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト
3. 日本海側の中枢圏域の形成	8. 強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト
4. 対流・交流人口の創出	9. 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

基本戦略・目標	広域連携プロジェクト
1. 世界最強・最先端のものづくりの進化	1. ものづくり中部・世界最強化プロジェクト ものづくり中枢圏形成 環太平洋・環日本海に拓く一大産業拠点形成
2. スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引	2. リニア効果最大化対流促進プロジェクト 3. 新たな観光交流おもてなしプロジェクト 広域観光交流圏の形成 「昇龍道」プロジェクトの推進
3. 地域の個性と対流による地方創生	4. 中部圏創生暮らしやすさ実感プロジェクト 5. 快適・安全安心な生活環境実現プロジェクト
4. 安全・安心で環境と共生した中部圏形成	6. 中部・北陸圏強靱化プロジェクト 南海トラフ地震など大規模自然災害への備え 太平洋・日本海2面活用型国土構築 7. 環境共生・国土保全プロジェクト 8. インフラ戦略的維持管理プロジェクト
5. 人材育成と共助社会の形成	9. すべての人が輝く「ひとづくり」プロジェクト 10. 新たな「つながり」社会構築プロジェクト

基本戦略・目標	広域連携プロジェクト
<p>1. アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域</p> <p>2. 日本の歴史・伝統文化が集積し、世界を魅了し続ける圏域</p> <p>3. 快適で豊かに生き生きと暮らせる圏域</p> <p>4. 暮らし・産業を守る災害に強い安全・安心圏域</p> <p>5. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域</p>	<p>1. 関西ゲートウェイ+ネットワークプロジェクト ○高規格幹線道路などによる道路ネットワーク整備等事業 ○関西国際空港などの機能強化事業 ○阪神港の国際競争力強化事業 ○国際拠点港湾や重要港湾、内陸拠点等の整備推進事業 等</p> <p>2. 関西成長エンジンプロジェクト ○医療イノベーションによる健康・医療産業の成長エンジン化事業 ○イノベーションを支える知の拠点整備事業 ○ナレッジキャピタルなどから発信するイノベーション創出事業 ○世界をリードするバッテリースーパークラスター事業 等</p> <p>3. 歴史・文化・おもてなしプロジェクト ○歴史・伝統文化の継承・活用と新たな地域資源の発掘・育成事業 ○観光ネットワーク強化・形成事業 ○外国人旅行者の受入環境整備事業 ○関西国際空港などへのアクセス強化事業 等</p> <p>4. 京阪神まちづくりプロジェクト ○育児・医療・福祉環境の充実による誰もが住みやすい燦々まちづくり事業 ○主要駅を含めた都市機能のリノベーション事業 ○燦々まちづくりを支える交通基盤事業 等</p> <p>5. 地方都市活力アッププロジェクト ○コンパクトシティ化による地方都市活性化事業 ○連携中枢都市圏等の形成事業 ○都市間を結ぶネットワーク強化事業 ○地方の強みを活かした地域産業活力アップ事業 等</p> <p>6. 農山漁村いきいきプロジェクト ○「小さな拠点」の形成事業 ○農山漁村をいきいきさせるネットワーク形成事業 ○地域おこし・ふるさと起業支援事業 ○農業担い手確保事業 等</p> <p>7. 関西強靱化・防災連携プロジェクト ○南海トラフ地震や上町断層帯地震等の大規模地震・津波対策事業 ○洪水・高潮などの水害、土砂災害対策事業 ○インフラ長寿命化推進事業 ○「命の道」などの防災力向上事業、○防災意識の向上事業 等</p> <p>8. 環境共生プロジェクト ○健全な水循環形成事業、○生物多様性の確保事業、○循環型社会の構築事業 等</p>

中国圏広域地方計画 広域連携プロジェクト

基本戦略・目標	広域連携プロジェクト
1. 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり	1. 基幹交通の整備によるネットワーク強化 2. 都市間の多様な連携の推進 3. 拠点都市整備とコンパクトシティの推進及び中小都市の振興 4. 東アジアを始めとする国際交流の推進
2. ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化	5. ものづくり産業のイノベーション等による競争力強化 6. 基幹産業の競争力強化に直結する国際物流機能の強化 7. 多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進
3. 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進	8. 地域資源を活かした産業の育成等による新たな雇用創出 9. 農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村の創出 10. 空き家活用等多様な転入支援策 11. 「小さな拠点」の形成等による持続可能な生活サービスの確保
4. 土砂災害・水害対策やインフラ長寿命化等による強靱な圏域整備と安全・安心の推進	12. 他圏域のバックアップも含めた災害対策の推進 13. インフラ老朽化対策の推進 14. 安全で安心な住宅・社会資本の整備
5. 環境と産業・生活が調和した地域づくり	15. 低炭素・循環型の地域づくり 16. 瀬戸内海等の豊かな自然環境の保全・再生 17. 美しい景観の保全整備
6. 将来の発展を担う人材育成	18. 中国圏の人材育成 19. 若者・女性活躍社会、高齢者参画社会、障がい者参加社会の実現

四国圏広域地方計画 広域連携プロジェクト

基本戦略・目標	広域連携プロジェクト
1. 南海トラフ地震への対応力の強化等、安全で安心して暮らせる四国 ～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～	1. <u>南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト</u> <ul style="list-style-type: none"> ●南海トラフ地震に対する安全・安心を確保 ●暮らしを支えるインフラの老朽化対策の推進 ●台風・豪雨等の自然災害に備える
2. 若者が増え、女性・高齢者等が生き生きと活躍する四国 ～多様な人材が能力を発揮できる社会を実現～	2. <u>お遍路の癒やしや四国の文化を受け継ぐ「史国」伝統継承プロジェクト</u> <ul style="list-style-type: none"> ●遍路文化を核とした四国遍路の魅力発信 ●伝統的な文化を次世代に継承 ●遍路道、札所周辺の環境整備
3. 地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国 ～グローバル化を生き抜く産業群の形成～	3. <u>美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト</u> <ul style="list-style-type: none"> ●「広域観光周遊ルート」等による観光振興 ●四国圏の特徴を活かした観光による交流促進
4. 中山間地域・半島部・島しょ部等や都市間が補完しあい活力あふれる四国 ～農山漁村と都市の共生～	4. <u>全国に先駆けて進行する人口減少への「子国」支援対策プロジェクト</u> <ul style="list-style-type: none"> ●人口減少対策としての移住促進 ●子育て支援制度の充実 ●少子化・高齢化への対応策の強化 ●「コンパクト+ネットワーク」の構築
5. 歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国 ～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～	5. <u>地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト</u> <ul style="list-style-type: none"> ●地域資源や技術を活かし、産学官の連携を深め、世界に通用する産業競争力を強化 ●技術力や特産品を国内外へ売り込み、新たな市場を切り拓く ●産業の成長を支える人材の育成・確保

基本戦略・目標	広域連携プロジェクト
1. アジアゲートウェイ機能の強化	1. アジアとの交流・連携を促進する「ゲートウェイ九州」の形成プロジェクト 2. 国内各圏域との交流・連携の強化プロジェクト
2. 九州圏の活力を創出する交流・連携の促進	3. 九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト 4. 九州圏の交流・連携を促進するネットワーク基盤の整備プロジェクト
3. 九州圏の基幹産業や地域産業の活性化	5. 九州圏を支える基幹産業の発展と活性化プロジェクト 6. 高度なニーズにこたえる農林水産業や地域産業の新たな展開プロジェクト
4. 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化	7. 九州圏の活力源となる高次都市機能の向上と連携の強化プロジェクト 8. 都市と農山漁村の連携の強化と生活環境の向上プロジェクト 9. 離島・半島、中山間地域等の活力の維持と向上を図る定住環境の形成プロジェクト 10. 九州圏の活力を担う人材の地産地活プロジェクト
5. 九州圏の安全・安心の確保と自然環境・国土の保全	11. 巨大災害等への対応力の強化プロジェクト 12. 環境負荷の軽減と自然環境・国土の保全プロジェクト